

平成30年度 修文女子高等学校評価

【教育方針】

- 全人教育・文武両立
- 教育の根拠となる哲学「どう生きていけば幸せになれるのか」の追求
 - 1 学習
 - ・学習に打ち込むことを通して生きる力を養い、知的で豊かな人間性を育む。
 - 2 課外活動
 - ・学校行事を通して絆を深め、人間関係の大切さを学ぶ。
 - ・部活動を通してしなやかな心を育て、たくましい精神力を養う。
 - 3 社会性
 - ・社会生活におけるルールや礼儀を体得し、人間としての品格を備える。
 - ・地球環境について正しい認識を持ち、環境保持活動を実践する。

【目指す学校像】

魅力と活力に満ち、地域に根づく(信頼される)学校

【目指す生徒像】

学習指導、進路指導の充実により生徒の「学びの構え」と、生活指導、部活動指導等の充実により「生きる構え」を育み、心身ともに逞しく「生き抜く力」を身につけた品格ある生徒を育成する。

【学校生活のモットー】

「元気に！ 明るく！ さわやかに！」

【今年度の重点目標】

- 1 社会人となるための基本を身につけさせる
- 2 学習に対する意欲を喚起し、学力を向上させる ～学力の保証～
- 3 心の教育の充実・自立心を育てる ～心の学校～
- 4 防災教育を推進する ～安心・安全な学校～
- 5 地域の期待に応え、信頼される学校をつくる ～開かれた学校～

※達成度は4段階評価

4. 大変よかったです。
3. まあまあでした。
2. あまりできませんでした。
1. 全くできませんでした。

項目	重点目標	具体的方策	実施内容	中間評価	最終評価	達成度	次年度への課題及び行方目標
普通科	基礎学力の定着	・毎朝の小テスト(漢字・英語)の実施 ・家庭学習ノートの実施	・小テストを毎朝(定期考査当日を除く)行う。合格点は8割とし、それに満たない得点の生徒には当該等を行って、より多くの生徒が英語と国語の基本的な知識を身につけられるようにする。	学習習慣の定着(2・3年生においては継続)は概ね達成できている。漢字の積み置き、基礎的な英単語・英熟語の定着にも、一定の成果が挙げられている。	基本的な学習習慣の定着など、「学びの構え」の構築には一定の成果を挙げることができた。	4	多様な入試に柔軟に対応できるような学力や、一般入試で合格できる学力を付けさせる指導をさらに充実させていきたい。
	応用力の養成	・習熟度別クラス編成による授業の実施(国・数・英) ・学力や進路希望に応じた補習の実施	・それぞれの学力に応じた適切な指導を行うとともに、よりレベルの高い授業、補習を実施することで、生徒の(客観的に計画できる)学力を引き上げる。	模試のデータを限り見ると、上位層の学力の伸長がいくつかある。今後継続的に指導を実施していく。	補習に取り組む姿勢など、特に3年生はこれからの普通科の方向性を考え、より重要な学習成果をあげるもであった。進路指導にも一定の成果が見られた。	3	来年度以降も、難関大学へ合格できるような応用力の育成を、教務課(各教科)・進路課と協力しながら進めていきたい。
	視野の拡大	・進路行事の実施時にあつる振り返りの徹底	・自身の適性や進路希望について、年間を通して絶えず思考を深めさせる。	1・2年生を中心に、卒業後の進路について興味・関心を持つ生徒が一定数見られた。今後はそれを各学年全体に広げていきたい。	特に3年生を中心に、進路希望を高い志を持って設定し、それに向かって頑張る姿が見られたことが成果である。	3	生徒の進路目標を、適切なPCやAIの導入で引き上げられるよう、攻めの姿勢で進路指導を行ってきたい。
	可能性の追求	・模試の積極的受験の奨励と対策の実施	・自らの能力を適度評価、適小評価をこなす。目的に向かって一心に学習に取り組む姿勢を育む。	志望校のレベルを安易に下げることなく、高い志を持って学習に取り組む生徒が増えた。上層の学力の養成とともに、その志を実現させるための指導にあたりたい。	最後まであきらめずに努力することで、「自分の持つ可能性は、自分自身で持っているものであった」という実感を持った生徒が増えた。	3	視野の拡大と同様に、自分の可能性を自分の主観のみで判断してしまうことのないよう、「生徒をその気にさせる」指導を心がけていく。
情報会計科	積極的な資格取得と進路指導	・夏・春補習、検定直前補習、朝補習、進路指導の充実	・3年間の検定取得に積極的に取り組む、日本商工会議所主催の検定合格を目指す。 ・資格による進路指導を充実させる。	夏・春補習、検定直前補習、朝補習に、ただ参加するだけでなく目的意識をもって意欲的に取り組めた。	多くの生徒が各補習の意義を理解し、目的意識をもって意欲的に取り組めた。また、高い合格者を誇る検定も数多くあった。資格取得を活かして進路する生徒や情報会計科の学びを深めた生徒が多かった。	3	真面目に補習に取り組む、検定を受験した生徒が多かったものの、数多くの検定を突破する時期になると消化しきれない生徒もいた。検定の受験計画を今一度見直すとともに、計画の効率的な学習ができるように指導していきたい。
	即戦力となる人材の育成	・授業前着席、授業準備の徹底	・コミュニケーション能力の育成を念頭に置き、攻めの細かな指導をする。	・コミュニケーション能力の育成を念頭に置き、攻めの細かな指導をする。	1・2年生を対象に、東海財務局の方より財政というテーマで出張講義を依頼した。その結果、商業について学ぶ意義や進路への意識付けにつながった。 3年生希望者を対象に、水戸(キオ)で行われた「一言消費生活フェア」にボランティアとして参加した。その結果、コミュニケーション能力の育成につながった。	3	今後も出張講義の依頼や外部イベントの参加増加について、現在の授業の学びをより実践的で深いものにしていく。生徒の主体的な活動を増やしていき、即戦力となる人材の育成を期待する。インターンシップやキャリアアワード等の積極的な参加を呼びかけたい。
家政科	基本的な生活習慣や基礎学力の定着	・毎朝の身だしなみの確認 ・個人面談の実施 ・学習コンクールの小テストの実施	・生徒、保護者とのコミュニケーションを積極的に行う。 ・理科全体で小テストを実施することにより、学習習慣を確立し、基礎学力の更なる伸長を図る。また、不合格者は追試を実施する。	定期的に個人面談を実施し、内容に応じて保護者と連絡を取ることができた。学習コンクール対策として小テストを実施したが、第1回より第2回の得点が高かった。	学習コンクールは今回までにおいて、昨年より平均点を上げることができた。目標から粘り強い指導を続けてきたが、次第に成果が多かった。	3	生徒指導に関することでは概ね目標に達し、進捗を深めていきたい。更なる基礎学力の向上に努めたい。
	家庭科検定資格取得の強化	・検定補習の実施 ・徹底反復学習に検定問題を実施	・家庭科生徒としての自覚を持たせ、調理と被服の基礎的な技術と知識を身につけさせる。	家庭科検定取得に向けての意識付けができた。補習が必要ない生徒は、授業などに実施することができた。	検定検定(3回)1級に2名、調理1級に1名、被服1級に1名など、過去最高の上位層の合格者を出した。	4	進路につながるような検定取得の指導を継続したい。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・調理師としての自覚の涵養	・個人面談を定期的に行い、一人ひとりの特性の把握に努め、調理師としての自覚を育てる。	個人面談を定期的に行い、生徒の些細な変化を見逃さない努力ができていた。また、生徒の進路実現の達成に向けての細やかな指導ができていた。	早期に問題点を発見し、迅速に対応することができた。その結果、保護者へは連絡をし、学校と家庭が協力して生徒を見守ることができた。	4	より一層、生徒の変化を見逃さない指導を継続したい。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・地域地消をテーマに、一宮市にちなんだメニューを考案し、発表する。継続的に商品化できるように企業に働きかける。	愛知デザイン・インnovationキャンペーンのおもてなしメニュー「おはな」を出店した。伊勢神宮への奉納を目標に、地元農産物と産学連携で「特別レクレーション」も考案していた。	愛知デザイン・インnovationキャンペーンの成功、親子ワークショップの開催、セブンイレブンやオゾン木目川店との連携企画開催など、一定の成果は表れているが、伊勢神宮への奉納はできなかった。	3	新しい企画を立案し、既存の企画におけるスバライルアップができるよう、日頃の教育内容の拡充をより一層深めたい。
総務課	防災に対する取り組みの推進	・防災教育の推進	・危機を予防するために、点検・避難訓練・教員研修・安全教育を実施し、安全に行動できる知識や能力を育成する。	避難訓練を全校生徒に対して実施した。また、一宮市役所危機管理課に依頼し、1年生に対して「地震についての備え」について講話を実施した。	2学期以降、度々地震が発生した。地震への行動がとれるよう指導する必要がある。	3	「あいむ」シェイクアウト訓練を実施し、避難訓練を実施し、防災講話、消火栓講習会等を実施していく。
	PTAや同窓会との連携の推進	・PTA活動の主体的な取り組みへの支援 ・同窓会などの情報発信	・メール配信システムやホームページを通して取り組みを紹介し、協力連携を図る。	PTA活動に関しては、文化祭時のチャリティーバザーや交通安全指導を実施したが、ホームページ等に活動を紹介することはできなかった。同窓会の活動に関しては、新しい企画の情報発信ができていない。	PTA活動の新しい企画を実施することができた。また、同窓会より、AEDや部活動の動画を寄贈いただいた。	3	PTAとの連携を図り、主体的な取り組みを働きかける。またホームページを通して情報発信する。
教務課	基礎学力の定着と応用力の養成	・学習コンクールで60点以上、基礎力診断テストで2以上を目指し、入試に対応できる運用能力を身につけさせる。	・学習コンクールで60点以上、基礎力診断テストで2以上を目指し、入試に対応できる運用能力を身につけさせる。	土曜日補習を実施することで、昨年より基準点以上の生徒が飛躍的に増加した。	土曜日補習を実施することで、昨年より基準点以上の生徒が飛躍的に増加した。	4	そのほかの取り組みだけではなく、定着がはかれるようにする。
	学力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・授業規律の確立と授業力の向上
図書課	図書室の活用	・図書室の整備	・図書室の整備	・図書室の整備	・図書室の整備	・図書室の整備	・図書室の整備
	品位ある生徒の育成	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化	・正しい身だしなみの確認 ・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実施する。 ・交通安全の遵守 ・委員会活動の活性化
生徒課	生徒会活動の活性化	・部活動の活性化	・部活動の活性化	・部活動の活性化	・部活動の活性化	・部活動の活性化	・部活動の活性化
	健康管理の徹底	・心身の健康意識の向上	・心身の健康意識の向上	・心身の健康意識の向上	・心身の健康意識の向上	・心身の健康意識の向上	・心身の健康意識の向上
進路課	進路行事の連携と意識づけ	・3年間継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。	・3年間継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。	1年次から始まる各進路行事にそれぞれの意味を持たせ、3年間の高校生活を通して進路決定ができるよう進めているが、3年次になっても進路決定の意識が低い生徒も若干見られた。	進路シラサの活用が充分にできず、3年間の継続的な進路指導ができたとは言えない。	2	進路ファイルの導入と進路シラサのリニューアルによって担任が指導しやすい体制を構築する。
	満足できる進路選択	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化	・多様な入試制度の活用 ・就職試験対策の強化
広報課	情報発信の充実	・ホームページや学校案内等を通じて、本校の魅力を発信	・SNSとの連携により年間ホームページ訪問者数を拡大する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。	・SNSとの連携により年間ホームページ訪問者数を拡大する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。	・SNSとの連携により年間ホームページ訪問者数を拡大する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。	・SNSとの連携により年間ホームページ訪問者数を拡大する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。	・SNSとの連携により年間ホームページ訪問者数を拡大する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。